



かねやま大楽校が開校 「ジブン診断」で魅力アップを

7月6日、かねやま大楽校を開校し、第1回目のジブン魅力アップ講座が行われました。蔵史館を会場に「ジブン診断」をテーマとしたワークショップを開催。3人一組となり、自己紹介をした後、互いの印象を表情や服装などの観点から評価しあいました。この日は、町内外から約20名の若者が参加。12月まで全6回の講座に取り組み、魅力アップを目指します。

食生活改善推進協議会 町特産のニラを使った創作料理教室

6月22日、金山町食生活改善推進協議会の会員を対象とした、料理教室が開催されました。講師はニューグランドホテルの今田守日本料理長。花餃子やキッシュなどニラを使った創作料理を4品仕上げていました。会員の皆さんは「レパートリーが増えた」と満足げ。食生活改善推進協議会では、今後も定期的に料理教室を開催する予定です。ぜひ会員になってみませんか？



まちの わだい

身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

イザベラ・バード来町から139年 金山の自然と風景を考える

7月15日、「金山の自然と風景を考えるシンポジウム」が開催されました。町内外から集まった60名を超す来場者は、講演などを通して金山ならではの自然や風景について改めて考える機会となりました。

今年はイギリス人女性旅行家イザベラ・バード女史来町から139年。日本奥地紀行で『ロマンチックな雰囲気のある場所』と描写された街並みや金山三峰をはじめとする町内の風景はまだまだ健在です。「街並み（景観）づくり100年運動などの施策が実を結んでいるのだろう」と講師の渋谷先生は評価していました。来年はバード来日から140年の節目。金山町の良さと課題を再考し、更なる魅力アップを目指します。



七日町婦人会研修会 全盲のピアニストによる演奏会

7月5日、七日町婦人会の研修として、全盲のピアニスト佐藤裕子さんによる演奏会が開催されました。佐藤さんは盲導犬のシロを傍らに「エリーゼのために」など全7曲を演奏。40名ほどの参加者たちは優しさに満ちた素晴らしい演奏に心を奪われていました。また、盲導犬とのエピソードなどを通し、障がいと共生していくことについて理解を深めた研修会となりました。

町野球連盟が金山産のさくらんぼ贈呈 東京ヤクルト球団と佐藤さんへ

6月26日、山形県野球場でプロ野球公式戦、東京ヤクルトスワローズvs読売ジャイアンツの試合が開催され、金山町野球連盟の黒沼孝一会長と栗田一直顧問が、東京ヤクルト球団に金山産さくらんぼ4kgを贈呈しました。代表して打撃投手兼スコアラーを務める佐藤賢さん（三枝出身）が受け取り、「いつも感謝。地元からの声援は大きな力になる」と笑顔をこぼしていました。



認定こども園めぐたま 新園舎で迎える初の夏祭り

7月8日、認定こども園めぐたまの夏祭りが、新園舎で開催されました。お父さん・お母さん方の協力のもと、畑の整備や園庭への植樹などが行われました。子どもたちも石拾いや種まきなどを一生懸命お手伝い。大汗になりながらも親子揃って作業したことで、園庭が賑やかになりました。中田バンドの演奏など、大いに盛り上がった音楽イベントで祭りの最後を締めくくりました。





もがみさくらんぼ品評会 阿部豊春さんが優秀賞

平成29年度もがみさくらんぼ品評会において、阿部豊春さん（荒屋）が優秀賞を受賞しました。受賞したのは自慢の佐藤錦。阿部さんは「今年は低温が続き生育に関して心配した面もあるが、色付きも良くハリのある佐藤錦となった」と安堵の笑みを浮かべます。紅秀峰など他の品種も上々の仕上がりと話す阿部さん。今後も金山から美味しいさくらんぼが産まれることを願います。

中田地域の未来のために 地域運営組織についての勉強会

7月4日、旧中田小学校を会場に勉強会が開催され、参加した地域の皆さん約70名が、中田の未来について考えました。高齢化や若者不足が顕著な中田地域。県や町とも協力しながら、現状に合った地域づくりを進めていくために、地域でできることと、できないことを洗い出しました。この日は、今後地域を運営していく新たな取り組みを考えるきっかけとなりました。



星川建設(株)・(有)星輪の2社 十日町地区山車小屋を設置

7月1日、星川建設(株)と(有)星輪の社員の皆さんが、夏季安全大会にあわせてボランティア活動を行いました。例年実施している町道のカーブミラー磨きに加えて、「金山まつりを盛り上げるため、若連の負担を少しでも減らしたい」との思いから、今年は十日町地区の山車小屋をボランティアで設置。両社から5名ずつ、計10名が半日かけて立派に組み上げました。

(株)新庄・柴田・鈴木組の社員 ボランティアで沿道清掃

7月1日、(株)新庄・柴田・鈴木組の社員の皆さんが、「日頃お世話になっている地域への恩返し」の意味を込めて沿道の清掃ボランティアを実施しました。同社のこの活動は今年で3回目。約10名で3時間以上かけ、田尻～杉沢の沿道約3kmの区間を清掃。活動に参加した皆さんは「よく使わせてもらっている道路に感謝。来年以降も継続していきたい」と話していました。



職場団体等対抗ゴルフで大記録 矢口一男さんがエージシュート

矢口一男さん（下向）が第15回金山町職場団体等対抗ゴルフコンペに出場し、見事「エージシュート」を達成しました。エージシュートとは、18ホールを自分の年齢以下のスコアでホールアウトすること。77歳の矢口さんは年齢と同じ77という驚異のスコアで、県民ゴルフ場全ホールを回り切りました。矢口さんは「ゴルフは何歳になっても続けたい」と笑顔で話していました。

まちづくり拠点事業 地域の『空き』活用法を探る

6月30日、地域の『空き』の活用をテーマにした勉強会を開催しました。地域づくりを手掛けている2人の講師をお迎えし、参加者たちは斬新な空き家の活用法に驚きながら、金山での在り方を模索。キーワードは「エリアの価値を高めること」。講師の方は「金山は街並みが素晴らしい。空きを活用してエリアを巡回させる仕組みをつくってみては」とアドバイスされていました。



金山町長杯グラウンド・ゴルフ大会 交流で「生涯スポーツ」の推進を

7月2日、グリーンバレー神室を会場に第1回金山町長杯グラウンド・ゴルフ大会が開催され、鈴木町長のほか、町内の愛好家67名が参加しました。90歳を超えた方もおり、皆さんが元気にプレーする姿が印象的でした。健康づくりには無理のない程度に体を動かすことも重要。グラウンド・ゴルフを楽しみながら交流することで、生涯スポーツの推進が図られました。

白岩土木建築(株)の社員 公園地を草刈りボランティア

7月1日、白岩土木建築(株)の社員の皆さんが、白山神社（羽場）の草刈りボランティアを行いました。およそ30名の社員が参加し、1時間ほどかけて参道やお宮周辺をきれいに除草。15年以上続くこのボランティア活動に「普段からお世話になっている地域に恩返しをしたいと始めたこと。これからも継続したい」と白岩代表取締役は話していました。

